

⑤ みんなに  
どう接してほしい？

にんちしょう  
認知症になっても、**なにも変わらない!**  
にんちしょう  
認知症という病名がついても次の日も、  
一週間後も、なにも変わらないよ。  
今までどおり、ふつうに接してほしいな。



にんちしょう  
認知症の人は怒りやすいって、  
よく言われるけど、嫌なことや  
傷つくことを言われたら  
怒るのは当然。  
みんなも、そうだよな。  
わす  
忘れてしまうことを怒られると  
とても悲しい気持ちになるので、  
やさ  
優しく教えてほしいな!



私たちが代わりに  
覚えておくよ♡

⑥ 心配ごとや悩みは  
どこに相談  
すればいいの？



心配ごとや悩みごとは、  
かかえこまずに  
**誰かに相談**することが、  
とても大切なんだよ!

かかりつけのお医者さんに  
相談してもいいし、  
中間市役所にある  
**地域包括支援センター**  
に相談してもいいよ!



なかましかいごほけんか  
中間市介護保険課  
ちいきほうかつしえん  
地域包括支援センター

☎ 245-7716

にんちしょう  
認知症を学ぼう!

なかま  
の  
なかま

ぼくは、<sup>たんのともふみ</sup>丹野智文 <sup>さい</sup>48歳。  
<sup>さい</sup>39歳の時に、<sup>じゃくねんせい</sup>若年性認知症と診断  
されたよ。  
ぼくは、現在、<sup>にんちしょうけいけんしゃ</sup>認知症経験者として全国  
をまわり、<sup>にんちしょう</sup>認知症について、多くの人に  
知ってもらうための活動をしているんだ!  
みんなも<sup>にんちしょう</sup>認知症のことを学んで、  
正しく理解してね!

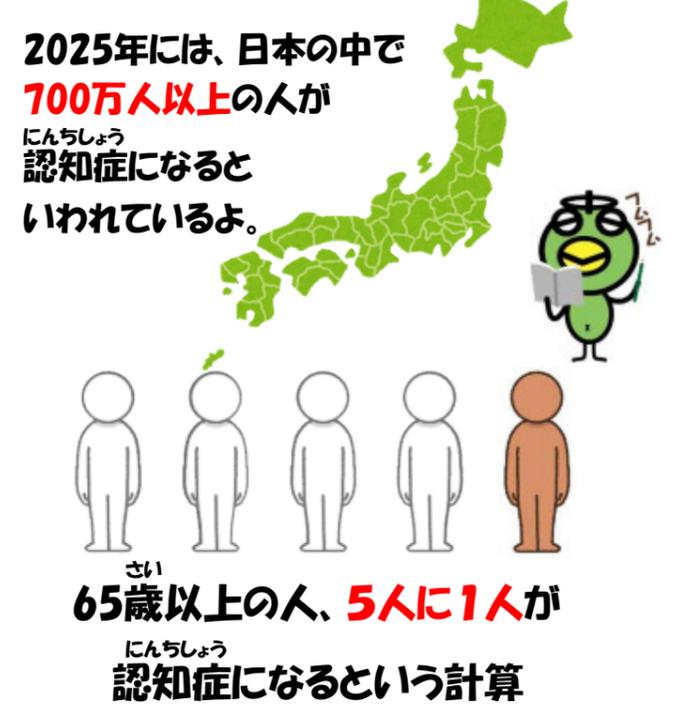
にんちしょう  
認知症 **なかまで備え 支え合う**  
プロジェクト 2022

中間市では、<sup>にんちしょう</sup>認知症になっても自分らしく活躍できる「<sup>たが</sup>お互いさま」  
のまちづくりを目指し、「<sup>にんちしょう</sup>認知症 **なかまで備え 支え合う**」  
プロジェクトをすすめています。  
みなさんも<sup>にんちしょう</sup>認知症について、一緒に考えてみませんか?  
きっと新しい発見があるはず!!

# ① 認知症ってなあに？

様々な原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなってしまい、毎日の生活に不安や困りごとがおきてしまう病気なんだ。

- 認知症には…
- ・アルツハイマー型認知症
  - ・脳血管性認知症
  - ・レビー小体型認知症
- などの種類があるよ！



# ② 若年性認知症ってなあに？

女性より、男性が多い！

18歳～64歳で認知症を発症した場合「若年性認知症」というよ！  
平均発症年齢は54.4歳。  
「認知症」は、おじいちゃん、おばあちゃんだけかなるわけじゃないんだ。



みんなのお母さんや、お父さんも認知症になるかもしれない。認知症は、いつ誰がなってもおかしくないんだ。  
だから、みんなで考えていく必要があるんだね。

おうちでも認知症について話し合ってみよう！

# ③ 認知症になったらどうなるの？

認知症になると、忘れっぽくなったりわからないことが増えたりするよ。

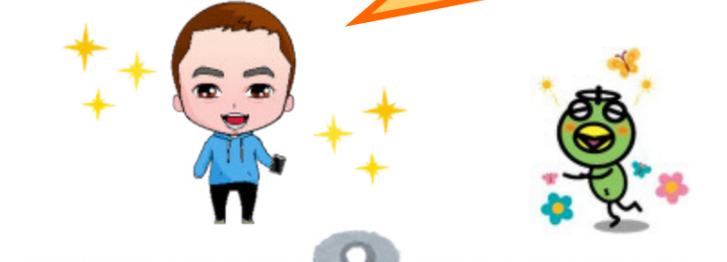


例えば買い物に行ってお金を払うことを忘れてしまうことがある。それを「万引き」って言われてしまうと、とても悲しい気持ちになるよ…。  
「万引き」ではなく、「未払い行動」って言うんだよ。

認知症になって、自分のことができなくなったり、新しいことが覚えられなくなっても、相手を思う心や感謝の心は生きているんだよ。

# ④ 丹野さんも忘れるの？ 朝ごはん、何食べたか覚えてる？

覚えてないよ～、それでもいいと思うんだ。大切なのは、今を生きているということ！



質問されて思い出せない時は、つらいから、認知症の人へは、「今日の夜は、何が食べたい？」などのわくわくすることを質問してほしいなあ。  
「これから何したい？」って未来のことを聞いてくれたら、認知症の人も楽しく話してくれと思うよ。

へえー そうなんだね♪